

5. 防災情報ネットワーク

天竜川流域において、水害や土砂災害による人命の損失などの重大な被害を回避するため、CCTV（監視カメラ）や斜面監視GPSなどを設置し、監視、観測を行っている。

また、高度情報通信の基盤となる光ファイバー網を、天竜川上流河川事務所と管内の出張所、天竜川総合学習館や砂防情報センターといった国土交通省関係の防災拠点と関係市町村との間で整備し、CCTVの映像や観測データをリアルタイムに地域住民の方々に提供している。

ITを活かした「観測機器」「光ファイバー」「防災拠点」等を整備することにより、危機管理体制を構築し、地域住民へ迅速かつ的確に情報を提供していく。



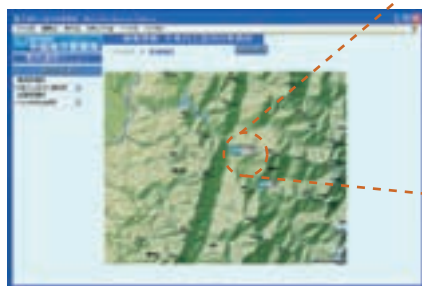
天竜川の映像を映す監視カメラ



遠隔地からカメラの制御が可能

○インターネット上でのCCTV画像公開

出水や土砂流出状況の把握や避難が迅速に行えるように、CCTVカメラの映像をインターネットで提供している。



○災害対策車両

災害発生時に被害を少なくするためのさまざまな車両を配備し、いざというときに備えている。災害現場で素早く的確に指揮を行うための「対策本部車」、住宅や田畑などにあふれた水を排水する「排水ポンプ車」、被害状況把握のため、現場の映像を素早く伝達する「衛星通信車」、夜間の作業を可能にする「照明車」などがある。



照明車



排水ポンプ車



衛星通信車

○防災拠点の整備

災害発生時において緊急復旧活動を迅速に行えるよう、大型コンクリートブロックや盛土材等の資材の備蓄機能を有した防災拠点を整備していく。

